



# こうふ町 議会だより

町勢  
世帯数／1,170世帯  
人口／3,931人  
(平成16年4月1日現在)

町の木



ぶな

町の花

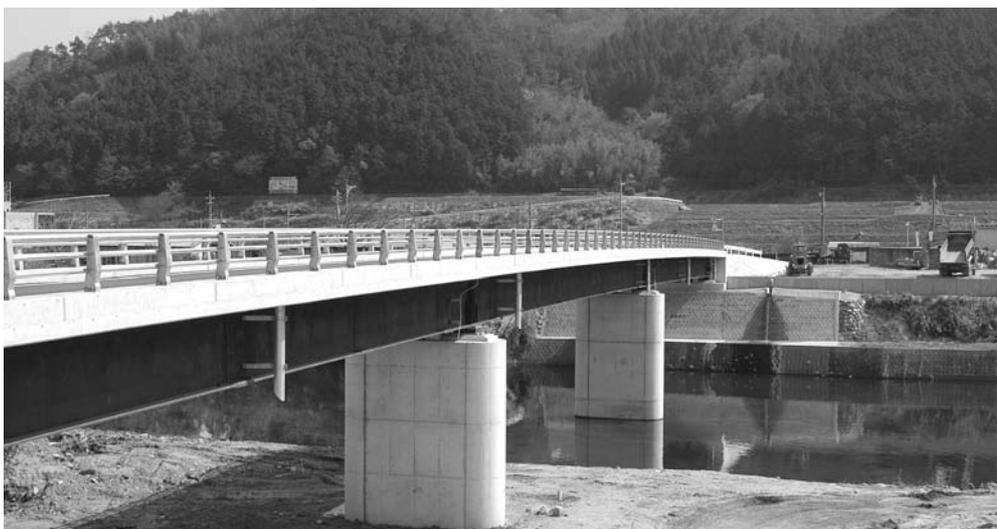


あやめ



## “おとずれる” 春のいぶき

ふるさとづくりを実感できるまちに (平成16年度予算) …	2 P
予算の審議……………	6 P
<b>いっぱん質問</b> 町政を問う……………	10 P
私もひと言……………	16 P



久連地区住環境整備事業による橋の完成（鉄穴橋）

減額の主たる要因は、防災・情報センター建設、情報基盤整備、住環境整備事業が完了したことと厳しい財政状況による新規事業の抑制対応と節減によるものです。

主な歳入をみますと、自主財源である町税が前年対比93・61%で侯野ダムの固定資産税の減価償却によるものが大きく、今後も減り続けます。国庫支出金が62・75%、県支出金が57・1%、繰入金が50・87%、諸収入が58・74%、町債が66・25%となっています。

歳出につきましては、前述しました事業の完了等により全体では減となっていますが衛生費が前年より7・79%増、土木費が15・06%増、消防費が7・40%増、教育費が9・53%増、公債費が11・25%増となっています。

衛生費は簡易水道特別会計への繰入金等の増、土木費は町道改良工事費、住宅建設工事費等の増によるものです。

消防費は消防施設整備工事費による増、教育費は総合運動公園の施設修繕工事費等の増です。

主な施策として

○農林水産業費

中山間地域の生き残りをかけ、豊かな資源を十分に活用し活力とうるおいのある農村社会の構築に向け一層努力します。

○民生費（社会福祉費）

本町の基本柱である保健、医療、福祉の総合的連携、具体的な計画が14年度から実施され、本年度は最終年度として計画の樹立をします。

○総務費（総務管理費）

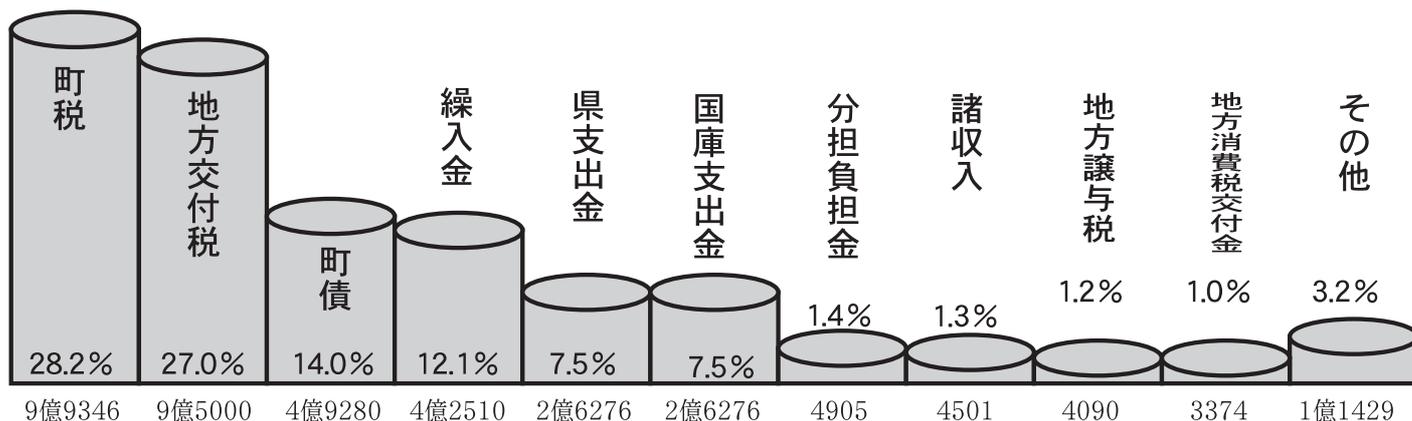
国の「三位一体の改革」による地方財政の厳しさは深刻な状態であり、職員による意識改革のもと、住民サービスの多様化に対応して高度化と効率化を目指します。

○衛生費（保健衛生費）

健康で安全、安心の幸せな生活を続ける地域づくりを目指し、乳幼児から高齢者まで一貫した健康づくり事業を進め、特に身近な地域で取り組む健康づくり対策を一層推進します。

歳入

一般会計総額 35億2400万円



# ふるさとづくりを 実感できるまちに

平成16年度予算

## 一般会計21・3%減

### 特別会計は7%の増

平成16年度3月定例議会は3月11日から23日まで13日間の日程で開催されました。

平成16年度の一般会計、特別会計の予算をはじめ、関係条例等の制定など39議案が上程され、慎重審議の結果、原案通り可決しました。

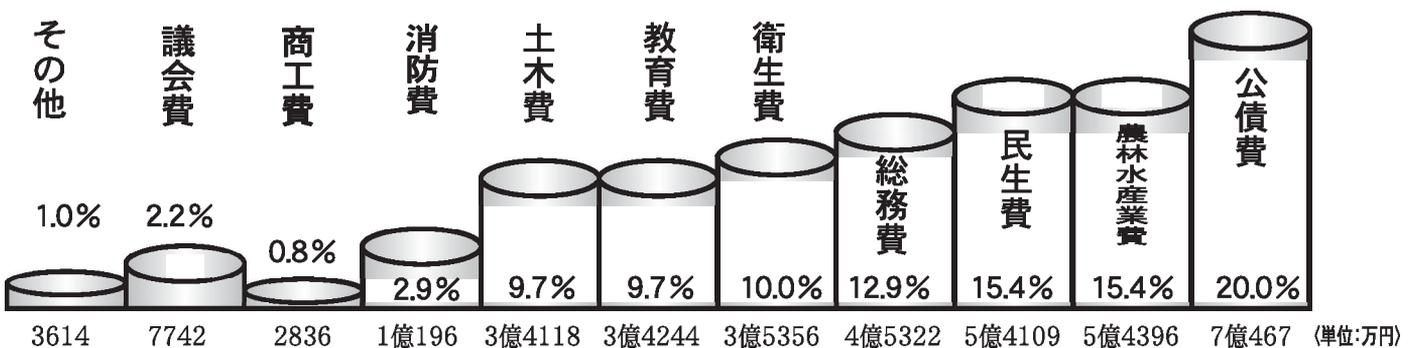
また、15日の本会議では3名の議員が一般質問に立ち各議員それぞれ活発な議論を展開しました。

平成16年度の予算は、厳しい経済情勢や国の改革による地方財政に対する見直し、町民の多様な要望等を十分勘案しながら、事業・事務の必要性や効果を再検討するとともに、永い間の行政指導から分権時代を迎え、より町民指導のまちづくりへの町民意識の変革を期待しながら「豊かで恵まれた自然環境の中で主権者である町民一人ひとりが自らの問題として、ふるさとづくりを実感できるまち」にむけ編成されました。

特に本年は、税収の減少並びに国の改革による主たる財源の減額により、新規事業を抑制し、継続事業が中心となっております。

平成16年度当初予算は、一般会計が総額35億2400万円となり前年と比べ21・3%の減となっております。特別会計と合せると57億3786万円となり12・3%の減となります。

## 歳出



# 特別会計 (14会計)

# 総額22億1,386万円

## 前年対比7%増額 (15,492万円) の 予算が編成される

### 国民健康保険 (事業勘定)

#### 高額医療費で国の指定・抑制計画作成

総額3億1158万円 (うち一般会計から2900万円を繰り入れ)、本町の1人当たりの医療費は、平成14年度実績で「老人」が68万6千円、「一般・退職」34万5千円となっており、なかでも「一般」の六十九歳以下の医療費は厚生労働省基準による地域差指数が1・176倍であり、平成16年度より厚生労働省の指定により本格的な医

#### 療費削減のための取組みが必要となった。住民検診における早期発見早期治療、これこそ保健、医療が一体となった成果であり、医療費の減少への効果として現れるのほも

う少し期間を要する。こうした中で、健康増進への取組も一昨年から「しあわせ座談会」を各集落で開催し健康づくりグループの育成に力を注いでいる。

### 国民健康保険 (施設勘定)

#### 地域医療に貢献

総額1億5900万円 前年度対比200万円増額、医療・保健・福祉との連携のとれた保健センター、診療所の複合施設「総合健康福祉センター」の活用と、また、江尾診療所内に歯科口腔外科部門設置で町民から好評を得ている。

診療所は、診療のみではなく、保健対策としての住民検診に力を注ぎ、国保運営の安定と町民の健康福祉への貢献を担っており地域医療対策として、総合医、家庭医として予防、健康増進、治療、社会復帰まで考えた、包括的医療が進められる。

### 介護保険 (保健事業勘定)

#### 社会全体で介護を

総額3億5900万円 寝たきりや痴呆等による介護者も急増、その期間も長期化、家庭における介護者も高齢化、介護保険制度は、これら高齢者を取巻く不安要因に対処し、また、給付と負担を明確にした社会保険方式の導入により、社会全体で介護を支え、利用者が選択できる仕組みとして創設された。

介護保険認定者は187名で六十五歳以上人口の13・7%を占め、介護サービス費用は、在宅サービスを中心に年々増加傾向となっており、福祉計画及び介護保険事業計画の見直しに基づき老人保健施設建設と、在宅で生きがいをもって生活していたため、在宅支援体制の充実も必要である。



しあわせのまちづくり事業



全町の下水道整備事業を早期実施へ

### 下水道事業

#### 計画的な環境整備を

総額4億0500万円  
 下水道は近代的な町づくりに  
 において、公共用水の水質  
 保全、住民の快適な生活環  
 境を維持する上で重要施設  
 で、後継者対策、嫁対策、  
 Uターン対策、過疎対策等  
 不可欠条件、特に農業を  
 基幹産業とする本町では  
 生活環境及び集落環境を  
 維持保全する

上からも処理施設の整備  
 は重要課題で、農業集落  
 排水事業では今年度は引  
 続き御机地区の施工を、  
 吉原地区の調査を計画し  
 ており、特定環境保全公  
 共下水道事業では江尾地  
 区の白住地区及び柿原地  
 区を事業計画している。

### 簡易水道事業

#### 残り1施設

総額2億1040万円  
 各施設の維持管理運営に  
 ついては、平成9年度に  
 給水料金の統一化を図り、  
 年次計画的に町直轄の水  
 道施設に移行しており、  
 更に平成16年度には、御  
 机地区簡易水道施設の直

営化の予定であり、15施  
 設の内、残り1施設につ  
 いては水源改良等の充実  
 を行い、水道運営本来の  
 姿である町直轄管理運営  
 に向けて、一層安定した  
 生活用水の供給と均衡あ  
 る生活環境の整備を望む。

### 笠原市民農園

#### 果敢な取組み

総額990万円(うち  
 一般会計から550万円  
 繰り入れ)農園利用者等  
 が少なく財源不足で運営  
 費は一般会計から補填さ  
 れている。独立採算の経  
 営確立するためには、現  
 地の情報提供、PR、都  
 市住民との更なる経済、

文化等幅広い交流の機会  
 を創出し、様々なイベン  
 ト、そば打ち体験、野菜  
 類の播種から生育、収穫  
 等体験講座を積極的に取  
 組み、また、第三セクタ  
 ー等との連携強調を図る  
 必要がある。



笠原市民農園の今後の取組みは

# 予算の

**Q** 県内の市町村のほとんどが既に取り組んでおります徴収の口座振替に取り組みます。納税組合の報奨金は今まで通り実施する。

## 祝い金は

**Q** 第3子入学並びに出生祝い金など。例年通り第3子入学並びに出生祝い金は実施します。

金婚式、高齢者記念品についても今年度は実施

## 間伐等の施行は

**Q** 山林の施行の取組みは

**A** 間伐、除伐等、枝打ちを行い、手入れを行う。作業道4本設置予定。

## 堆肥センターは

**Q** 堆肥センターの利用に向けて

**A** 江府町の堆肥センターの良質の堆肥が出来るよう工夫して、公社等通じて販促に力を入れていく。

## 消防施設費は

**Q** 消防施設整備請負費1900万円は

**A** 消防ポンプ車庫の新設を防災情報センター前に建設予定。

## 議員報酬削減は

**Q** 議員発議の5%カットは。

**A** 議員発議により本年度の報酬の5%カットを提出し、又各役職手当、助成金の削減をした。

## 特別職の報酬削減

**Q** 町長・助役、教育長の報酬5%カット

**A** 町長、助役、教育長の本年度の報酬を5%削減をする。

## 道路維持で除雪

**Q** ローター購入

**A** 1100万円の増額予算はなぜ鳥取県の歩道除雪推進事業で補助金を3割頂いてロータリー20馬力3台購入を予定している。

## 町道1号線を防災道路として

**Q** JA鳥取西部江府基幹支所の裏側の町道をどうする

**A** 1800万円をかけて農協の裏側の町道を防災情報センター新築の為防災用道路として農協の前側に変更の予定。

# 特別会計

## 笠原市民農園は

**Q** 笠原市民農園の運営及び今後について

**A** 市民農園の契約が十八件今後一区画を小さくし、新規契約に努める。

## 直営管理は

水道水の不足が生じるため、笠原の台地の湧き水を利用し水道を前向きに検討する。

そばの製粉機を十分活用したい。

## 今後の下水道は

**Q** 江府町の下水道工事の終了予定は

**A** 柿原地区 十六年から十八年度  
美用小原杉谷 十八年から二十一年度

宮一、宮市原 二十一年から二十三年度  
合併浄化槽の対象約八十戸  
今後各戸と協議の上、施工予定。

## 経営状況は

**Q** 診療所及歯科口座外科の経営状況は

**A** 患者数も多く順調に推移し約2500万円の利益が見込まれます。使途については今後決定する。

## 介護保険は

**Q** 介護保険特別会計の状況は

**A** 一昨年計画を見直し、(47,800)とし一年が経過し現在は予定通りです。介護認定者は少しずつ増えております。

# 一般会計

## 超緊縮財政とは

**Q** 収入は昨年に比べていくら減るか。

**A** 16年度予算35億2400万円、対前年度比9億5300万円の減額で率で見ますと約21%減。

## 【主な減額】

町税の減額のうち中電にかける償却資産は4870万円の減額、国県事業減少・繰入金減少等減収財政である。

**Q** 各種団体への補助金はどうか。

**A** 昨年比べて1割程度削減した。

**Q** 区長さんの事務手数料はいくらか。

**A** 今年度は昨年の5%削減でお願いする。

総額320万円程度。

## 新規事業は

**Q** 若者定住の住宅は。

**A** 若者定住住宅を佐川地内に2棟新規に計画している。

**Q** テニスコートは

**A** オムニコートの改修費5000万円は過疎債の財源事業の認可待ち。

## 情報システムの統合は

**Q** 市町村合併推進費の委託料300万円というの。

**A** 情報コンピュータ関係の維持管理の違いにより、システムの統一化するため日野町江府町それぞれ300万円ずつ組んでいる。

本会議の会期中3月16・17・18日に、一般会計・

特別会計予算委員会を開催し、審議において質

疑答弁が行われたので、主なものをあげてみま

した。

## 国保が国の厚生労働省の指定に

**Q** どうして国民健康保険が国の指定を受け、安定化計画の作成が義務付けられたか。

**A** 平成14年度の医療費が県下一高く基準給付費に対して1・14以上であったためですが、当町は住民検診に力を注ぎ病気の発見率が高く、延命率も上がっている。医療費の抑制に努め町民の健康づくりに力を注ぐ。

## 今年度の地積調査は

**Q** 今年度の調査集落は。

**A** 1866万9千円計上の対象集落は助沢集落となっております。その後他集落も手をあげていきたい。

## 携帯電話の不 통화地区の解消は

**Q** 携帯電話の不 통화地区の解消と情報サービスは。

**A** 不 통화地区の奥大山区の解消は間近である。今後努力をする。

## 江尾十七夜の取組みは

**Q** 江尾十七夜予算は

**A** 今年度十七夜の予算は例年の半額の150万円予算ですが、運営等集落に出かけ、話し合いを進めながらこの伝統行事を成功させたい。

## 除雪の効率化は

**Q** 除雪費800万円計上してあるが。

**A** あくまで経常予算はあるが、今年度概算では、2000万円程度かかっていると思われる。今後除雪体制の見直しで効率化を進める。

## 学校統合は

**Q** 小学校の統合について

**A** 学校統合の検討委員会の答申が出されましたが、教育ゾーン構想もあります。既存の位置、学校等の利用した統合も選択肢としてある。

## 納税の口座振替について

**Q** 納税組合並びに納税者の口座振替について

# 一般会計

## 予算特別委員会

## 参考意見

### 地域づくりのために努力を

江府町政50周年を迎えて更なる飛躍の年ですが、国からの交付税等削減で歳入が減少することにより、前年対比21%、953百万円減という緊縮予算は無駄を省き、重点予算配分となっています。執行部、議会で知恵と力を出し合って、効果を十分あげるよう住民参加の意識改革を行なうこと

もに、町民一体となって地域づくりのために努力していただきたい。

### 円滑な運用を

合併推進に伴う情報システムの統合は、今後円滑な運用ができるよう十分協議して進められたい。

### 町民の健康づくりを

平成14年度の医療費が県下1位と高く、国民健康保険の厚生労働省指定となり、抑制計画が義務付けられたが、一方、当町は保健・医療の連携で住民検診に力を注ぎ病気の発見率が高く、延命率

も上がっていると考えられる。

医療費の抑制は進めなければならぬが、町民の健康づくりに、更に力を注ぐようお願いいたします。

### 農林業・観光事業に知恵を

産業振興については、住環境整備・基盤整備もほぼ完了し、予算も少なくなっていますが、当町の農林業・観光事業に知恵を出し、発展に努められたい。

### 経費節減を

町道の整備促進、定住対策の町営住宅建設等、

十分協議検討し進めて頂きたい。

また、除雪について効率化をはかり、経費節減に努められたい。

### 住民サービスに知恵を町の活性化に努力を

携帯電話の不通話地区

の解消に努めると共に現在取り組んでいるADSLの普及と住民サービスに知恵を出して、町の活性化に努められたい。

特に、例年の半額予算となった江尾十七夜について、今後の取り組みを住民の皆さんと話し合っ

### 子供たちの学習環境に

学校統合に審議会の答申がなされていますが、財政状況等踏まえ、また、子供たちの学習環境について、関係機関とも連携をとって進められたい。

### テニスコートの改修を

江府町は、ソフトテニスの町として、永年努力し、また名声を得てきました。

厳しい財政状況ですが、コート改修を早期実現させたい。



全域の不通話地区の解消に向けて

# 特別会計

## 健康づくり 予防医学に

### 国民健康保険特別 会計(事業勘定)

平成14年度の医療費に  
基づいて、国の指定にな  
る。

江府町1人当たり平均  
の医療費は、

53万923円

江府町1人当たり平均  
給付費が

17万9726円

(特別事情控除後)

全国1人当たりの基準  
給付費が

15万2761円

全国平均(基準給付

費)を1・0とすると江  
府町(特別事情控除後)

は、1・17となり指定

基準の1・14を超えた  
ので国の指定対象になっ

た。  
原因 入院患者が多い。

一般 174件

(精神、脳卒中、癌)

老人 407件

住民検診が定着し、そ  
の結果検診受診者も多く  
なり、病気の発見率も高  
くなり、医療費の高騰も  
見られますが、このこと  
により延命率も高くなっ  
てくると思います。

今後は、健康づくり、  
予防医学に力を入れた健  
康な町づくりを望みたい。

### 国民健康保険特別 会計(施設勘定)

江尾診療所及び歯科口  
腔外科等も好評で患者数  
も多く、順調に推移して  
おり、2500万の利益  
が見込まれる。使途につ  
いては、今後方針を決定  
されたい。

## 住宅介護サービスの 充実を

### 介護保険事業特別 会計(保険事業勘定)

65歳以上の1号被保険  
者基準介護保険料は、平  
成12年度から平成14年度  
の基準額が年2万760  
0円(第3段階)、平成  
15年度から平成17年度は  
基準額が年4万7800  
円(第3段階)となる。

要介護要支援認定者数

187人

内 居宅介護サービス

受給者数 109人

内 施設介護サービス

受給者数 54人

要介護要支援認定者数  
が、今後増加の傾向にあ  
り、居宅介護サービスの  
充実に力を注ぐことが必  
要と思われる。

### 笠原市民農園 特別会計

市民農園の契約が18件  
(内新規1件)であるに  
で、今後1区画当たりの  
面積を少なくしたりして  
新規契約に努めていた  
きたい。

水道水の不足等が生じ  
るため、笠原の台地の  
湧き水を利用し水道等を  
前向きに検討されたい。  
そばの製粉機を購入さ  
れているが、十分な活用  
を図られたい。

### 簡易水道事業 特別会計

簡易水道等は15施設あ  
るが、内13施設が現在町  
直営であり、16年7月に  
は御机が町直営となり、  
残りは深山口、古屋敷水  
道のみとなるが全施設町  
直営となるよう努められ  
たい。

### 事業採択に向けて 努力を

農業集落排水  
林業集落排水  
特定環境保全公共下水道  
事業特別会計

町づくりの基本政策と  
して、ここ近年本町の下  
水道は高い普及率にな  
ったが、あと美用、小原、  
杉谷、宮市、宮市原等の  
集落が遅れている。  
特別委員会の声でもあ  
り、早急に予算を計上し、  
遅れている集落について  
も、事業採択に向けて努  
力されたい。



水道施設の中央監視システム

# 一般



## 道路行政について 農業政策について

池田成弘

問	高規格道路ルートは
答	日野川左右岸の調査中

現在調査中の高規格道路のルートの決定は、江府町の将来に取って大変重要であり、町の活性化は道路の発展が一番大切だと考えます。

国道482号の江尾地内の踏切解消、主要地方道岸本江府線小江尾地内の整備促進が急がれるので、高規格道路のルート

とアクセス道路の建設をどのように考えておられるのか伺う。

### 町長答弁

県として、考えられる路線としては日野川右岸側(役場側)の現道拡幅及日野川左岸側(久連側)が有り、まだ確定はしておりませんが、路線を決定するには、調査が必要であり環境影響調査等一年かけて実施し、具体的ルートが決定するのは来年早々の予定です。

町としても将来展望から見れば右岸側道路が必要と思われませんが、地域高規格道路計画と併せて、国道482号及び主要地方道岸本江府線をアクセスとして検討し、国の財

政の厳しい中でありますが、今後引きつづき県・県へ強く要望して参りたいと考えております。



遊休農地の解消策を

問	優良農地の保全と遊休農地の解消
答	農地の利用集積と集落営農の推進

笠良原・瓜菜沢合せて約127haの優良農地、現在牧草33haと郡外業者が大根18ha耕作されているが、残り76haの保全対策は。

一部の地域で特に高齢化と過疎が一段と進み遊休農地が大半であり他地域でも増加傾向であるが、

遊休農地の解消をどのようにされるのか伺う。

### 町長答弁

農地を保全していくためには、それぞれの集落において自らの地域は自らで守る努力をしていただきたい。今後は利用集積と集落営農の推進を図っていかねければならないと考えております。

一部畑作地帯におきましては、遊休地解消するために町外の農業法人に農地を貸付けております。更には新規作物の導入を検討すると共に構造改革特区制度等も活用し、異業種の農業への参入も検討して参りたいと思っております。山あい谷あいの未整備の荒廃した農地には柿・しぶき・きわだなど植栽も一つの方法です。

# 質 問

行政は簡潔で効率的かつ公平で透明度の高いことです。経営品質は民間企業では売上げと利益で評価できますが、行政の成果は明確に数字には出にくい、定期的に現状を見直し改善して行く経営品質システム等も必要ではないか、「公共施設等の管理委託」「ふるさと大使」問題については以前質問しました。

最小経費で最大の効果があると思います、行政改革について町長に伺う。

問	行政改革は
答	見直しを行いたい



## 行財政改革と

## 財政健全化対策は

日野尾 優

町長答弁

町においては、平成8年3月に行政改革大綱を改正し、平成10年4月23日に「江府町行政改革推進委員会」に諮問を行い5月には答申を受けて努力いたしてまいりましたが、近年の地方を取巻く状況から行政機構の細部にわたるあり方、行政主導から住民主導への意識改革の推進について見直しを行って参りたい。

問	財政改革は
答	費用対策効果を視点に進めたい

本町の財政については、年々悪化しております、財政需要も介護保険など高齢化の進展にともない新しいニーズとこれまで展開された事業や形成された公的部門の組織の堆積など、将来的には受益と負担の接近した地方自主財源を厚くする取組みが必要、それには、行政と住民の関係を再構築していかなければならない、その有効手段の一つとして政策評価を機能させ、評価プロセスや結果を住民に公開することで情報の共有を図り、政策立案能力の向上等の必要があります、財政改革について町長に伺う。

町長答弁

国の地方に対する財政改革「三位一体改革」による財源の減少が大きく影響してくる、是による影響額と本町の町税についても毎年度の減額が見込まれるところです。このため、新年度予算においては、積極的に住民生活基盤、生産基盤など十億を越える投資を行ってまいりましたが、思い切った投資抑制を行い、前年度比61%の減額いたしました。16年度事業についても費用対効果に視点を置き、住民サービス

の確保に傾注してまいります。

問	財政健全化対策は
答	町民一丸となって努力したい

悲観論からは新しい挑戦は生まれません。合併問題もあります、江府町の潜在力を信じて改革を進め明るい未来を築いていかなければなりません。財政健全化について町長に伺う。

町長答弁

財政健全化対策は誰もが町の将来のあるべき姿に向かい理解し、協力して目指せる指針であるべきと考えます。厳しい状況ではありますが、町の歴史、自然、資源を町民一丸となって進めるよう努力したい。

江府町の歴史には様々な苦難の時があつたかと思いますが、我々先輩は、勇気と希望を持って困難に立ち向かい新しい時代を切りひらいてきました。



行財政改革の取組みを



# 一般行政について

川上 富夫

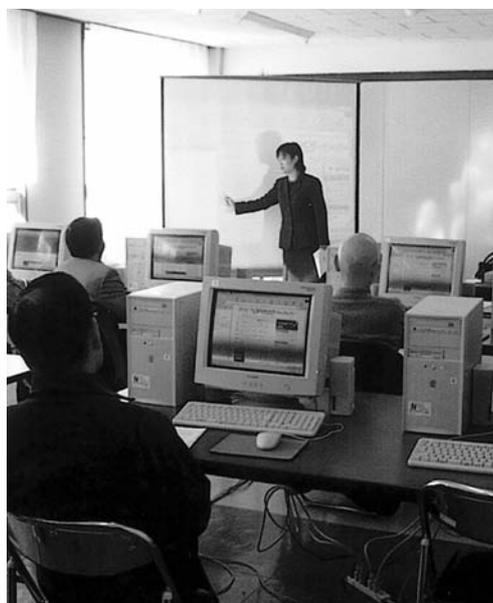
問	高速通信の利用について
答	現状の通信システムの活用を

鳥取情報ハイウエーが江府町に入ってきましたが、現在ADSLの接続が2月中旬からでき、個人各企業も次々と加入されている状況だと思いますが、現在の加入件数はどれくらいか。最低加入件数の見込みは。

区域外の方々にも、需要の声が大きくなれば、対応はどうするのか伺う。

鳥取情報ハイウエーは、光ケーブル通信であり、現在利用可能は官公庁、そして関連業種に限られていますが、その余線の利用は民間に提供できないでしょうか。もし光ケーブル通信が利用可能なら企業誘致にも大いに役立つと考えます。

どのような取組みをされるか所見を伺う。



高速通信化の活用を

### 町長答弁

高速情報通信ADSLの加入状況と地域インターネット事業による光ケーブル通信の個人・企業などを含めた今後の利用方法について、NTT西日本によりADSLは本年2月25日よりサービスを開始3月5日現在の加入状況は個人102件法人17件です。今後加入見

込みは増加見込みで200件を目標にしております。

平成15年度に行っております事業はあくまで公共機関を対象に個人・企業は入っておりません。現段階では許認可等かなり困難であります。

しかし、日々刻々と変化する情報通信体系について、町としては本事業において個人・企業への対応は将来を見据えた次世代ケーブルを整備しており今後の取組みは、新町まちづくり計画の中でこの情報通信体系について、検討する必要があると考えます。

問	農業公社の事業展開について
答	作業受託で経営の効率化を

昨年設立された、農業公社は年度途中からの立ち上げでした。次年度から受託は田植え、稲刈り等々の作業が中心で行われると思いますが、当町も一戸あたりの作付け面積は少なく担い手不足で受託に願うするしかありません。費用負担の軽減をする事で依頼が進むのではないかと。

農業を1次産業から2次・3次産業的に展開を図るために消費者と距離を縮めて目で見て、土とふれあつて安心して食することができる、将来に続けることが必要です。江府町の農業政策と公社の具体的な事業展開を伺う。

町長答弁

昨年の受託面積は、約73haでした。平成16年度は春作業からさらなる拡大を図って参ります。



受託作業料金の軽減は

受託料金の軽減に寄与していかなければなりません。平成22年を目標として地域水田ビジョンをあげています。

1.土地、作業、作物の集積による経営の効率化。

2.集落営農の推進。

特に今年度から当面3ヶ年生産調整に伴い、産地づくり交付金として水田農業に助成いたします。

「自らの地域は自らで守る」努力をして頂き農業公社と一体的に取組みを推進する考えです。

# 議員提出議案

## 年金課税強化の撤回を求める意見書

政府は、昨年12月、平成16年度税制改正案の中で年金の課税強化を決定しました。

この政府改正案は、現在、年金受給者に適用されている「公的年金等控除」及び「老年者控除」を縮小・廃止し、これを平成17年から実施するというものです。しかし、この改正案は、年金生活者に対する増税案であると同時に、実質的な年金の引き下げを行うこととなります。

また、年金の課税強化は年金所得の課税にとどまらず住民税の新たな課税または増税となり、これが国民健康保険料や介護保険料を押し上げ更なる公的負担増へと波及していくこととなります。

特に年金生活者は、健康保険法の改正による医療費増および介護保険料の増額改正等により公的負担が急速に増大している中で、これ以上の負担増は自立した生計の維持が困難になると考えられます。

つきましては、高齢者の低額年金者（年額250万円以下）の生活実態を充分ご賢察のうえ、年金課税改正にあたられますことを強く要望いたします。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出いたします。

平成16年3月23日

鳥取県日野郡江府町議会

## 中海の汽水環境の修復を求める意見書

大根島及び江島の北側にあり、外海への玄関口にあたる約1,700haもの広大な本庄水域は、干陸及び淡水化堤防で締め切られるまでは三つの大切な機能を持っていました。一つ目は宍道湖と日本海を行き来する数多くの生き物たちの「通り道」としての機能、二つ目は魚たちの産卵とその成長を育む「ゆりかご」としての機能、三つ目は洪水調節としての「遊水域」の機能です。

生き物たちの往来する[通り道]が塞がれ、「ゆりかご」が壊されて久しい中海は、このままでは蘇ることはあり得ません。サロマ湖につぐ汽水湖群「宍道湖・中海」が、かつての豊饒な汽水環境を再生できるか否か、その鍵は堤防を開削するか否かにあると言っても過言ではありません。

中海では50年代後半に遊泳禁止措置がとられておよそ半世紀になります。泳げる中海が必要なのです。これが実現すれば、漁業、観光、スポーツ（ボート、ヨット、遠泳）、釣りなどが復活し豊かな地域となります。本庄干陸及び淡水化事業が中止となった今、環境の回復をめざし、一刻も早く堤防を開削することが求められています。

したがって、当議会として、国の責任において堤防開削をはじめとする環境修復の施策を実施し、水産振興など中海の汽水環境の賢明な利用を図ることを求めます。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成16年3月23日

鳥取県日野郡江府町議会

定例会最終日、議員発議により2件の意見書が提出され、原案どおり可決し、関係行政庁に意見を提出しました。

議員発議により、江府町議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正が提出され、原案どおり全会一致で可決されました。

議員報酬については、平成15年4月から県西部地区特別職報酬審議会の答申どおり削減しておりましたが、地方交付税カット等により平成16年度一般会計当初予算が対前年度比21・3パーセント減額になるなど、財政状況が厳しさを増していることから、4月から日野町との合併予定の17年3月までの1年間5パーセントの減額を行うものです。

## あなたから出された陳情の結果

みなさんから提出のあった陳情を常任委員会で審査し、委員長から審査の報告を受け3月定例議会本会議で審議した結果、次のとおり決定しました。

件名	提出者	審議結果
日本統治下のハンセン病施策犠牲者に対するハンセン病補償法適用の議会決議についての陳情書	倉吉市湊町328 鳥取ピース・クロス 代表 池原正雄	趣旨採択
安心して暮らせる年金制度の確立に向けた陳情書	米子市西福原6丁目3番30号 連合鳥取西部地域協議会 議長 中島ちから	趣旨採択
年金課税強化の撤回を求める陳情書	鳥取市天神町30の5 鳥取高齢退職者団体連合会 会長 松崎博司	採 択
イラクへの自衛隊派遣の中止と事態の平和的解決を求める意見書提出の陳情	鳥取市南町505 自治労鳥取県本部 執行委員長 中田博明 他1名	継続審査
地中海の汽水環境の修復を国に求める意見書に関わる陳情書	西伯郡岸本町大殿1134 美しい地中海を守る住民会議 代表幹事 岩田武彦	採 択

平成16年3月28日

# 臨時会

平成16年3月31日で任期満了となりました江府町助役に森正幸氏を再任することに同意しました。



森正幸助役

助役の選任について同意しました

平成16年4月2日

# 臨時会



代表が署名を添えて要望

本案は、3月23日に「江府町の将来を考える会」の代表から江府町内有権者の68・5パーセントにあたる2千232人の署名を添えて「日野町との合併の是非を問う、住民投票条例の制定を求める」要望を町長、議長が受け、この住民の意思を真摯に受けとめ提案された。

## 《提案理由》

江府町が日野町と合併することについて町民の意思を問う住民投票条例の制定について



選挙管理委員会に委任

住民投票の管理及び執行は江府町選挙管理委員会に事務委任された。

## 〔住民投票の執行〕

全会一致で可決した。

## 《審議の結果》

江府町財政健全化のため職員から、旅費の日当について削減の申し入れがあり提案された。

江府町職員等の旅費に関する条例の一部改正について

## 《審議の結果》

全会一致で可決した。

## 《提案理由》

# ひとこと



大河原 清水 隆将

## 明德に学ぶ

山笑う。誰もが耳にする言葉であり4月から5月にかけて新緑の季節を指す言葉で有ると思われる。長い長い不況から抜け出せない昨今ですが歳々に訪ずれる此の春の季節になれば何故か不思議に喜びを感じ胸の高鳴さえ覚え人間の活動の原点でも有るように感じ長かった冬から解放され一斉に活動を始める時期でもあり、やがて虫達も土の中から這い出して来ます。私の好きな季節でもある。在籍をして居る明德学園も昨年度の末には開校三十周年の節目の年で記念式典、それに合せて記念誌の発行と言う行事が行なわれ改め

て先人達の努力と足跡を辿る事が出来感動を憶えるものがありました。学園生の学ぼうとする意欲も大切ですが今日迄此の様に永く続けて来られたのも町当局の物心面に依る御協力の賜であり、有難く感謝を致します。私達の活動の一環に年に一回文集の発行があります。課題編と言う事で昨年は「ふる里」と言ったテーマであった為ふる里について自分の思いを綴り最後に昭和の大合併より五十年後の今日新しい波に乗ろうと日野町との合併が論議をされて居ます。今年ではほぼ決定をせねば成りません。住民が平等に恩恵の被れる町を作り上げて行かなければなりません。新しい町作りに御参加御協力を頂きます様お願いを致します。合併に対するアンケート調査を見れば五十年前の合併の火種が今も燻っているようにも思われます。行政の原点は福祉に有ると思えます。正しい情報を提供して頂きそれを正しく理解する。此の事が住民にとつて一番大切な事ではないかと思えます。相手の有る対等合併で有ると言う事を念頭に集落の隅々迄行き届いた行政で有る事を望むもので有ります。日増しに忙しく成って参りますご自愛下さい。

## ボランティア活動との出会い



佐川 前田 恵子

私がボランティアと関わり始めたのは、食生活改善推進員になってからです。「私達の健康は私達の手で」と我家から地域へ広げる伝達講習会を行なう事、これが最初のボランティア活動でした。ボランティアを意識する様になったのは、配食サービスに参加してからです。私は届けるだけで十分な活動とは言えません。でも各グループで献立から調理まで、一生懸命作られる心のこもったお弁当を心待ちにしておられる方々へ、その気持ちと一緒に届けられる様心掛けています。手渡す時元気が明るい顔に見えるのが嬉しいです。

本格的？なボランティア活動に参加するようになったのは、二年前より民生委員を受

これから少子高齢化が進む中、町で取組みが進められています。しあわせ町づくり事業の地域ぐるみで助け合うボランティア活動が必要となります。ある団体の会長さんが「決して無理をしないで、出られる時に出来ればいいけんね」と言っただけの時、肩の力が抜けた様なホッとした事を思い出します。気負う事なく、やってあげるのではなく一緒に楽しんで行なう。家族の協力を得ながら自分の時間を作って参加する。長く続ける秘訣を、ボランティア活動を通して出会った方々から教えて頂きました。

次の世代の人達に自然に受け継いでもらえる様多くの方と一緒に活動して行きたいと思えます。

## あとがき

▼大山は白く冬化粧で、江府の里には桜も、桃も一度に咲き駆け足で春を運んできました。

3月議会は花は咲けども予算は縮み、地方の厳しさもろにでてきた議会でした。すべてが削減予算ではありますが、気持ちは前向きにとらえて行財政改革を進めなければなりません。

▼議会最終日に合併住民投票の要望書が住民団体「江府町の将来を考える会」の有志により有権者の約69%の意志を携えて提出されました。町民の意志を十分尊重すると町長は受け止められた。住民がしっかりと判断できるように、住民説明を十分しなければいけません。

川上 富夫

編集委員長  
副委員長  
委員

浜本伸介  
池田成弘  
日野尾優  
川上富夫  
川端雄勇